

令和5年度（2023年度）第1回宗谷地域野生鳥獣対策連絡協議会 議事録

日時 令和5年（2023年）9月29日（金） 13時30分～15時00分
開催場所・方法 1 宗谷合同庁舎2階講堂
2 ZOOMによるWEB開催
出席者 別添出席者名簿のとおり
議題 1 北海道におけるエゾシカ対策の現状等について
2 宗谷管内におけるエゾシカ対策の現状等について
3 その他
4 質疑応答

議事

(1) 議題1 北海道におけるエゾシカ対策の現状等について

ア 事務局から資料説明（黒田自然環境係長）

イ 質疑応答（・無）

（北海道猟友会南宗谷支部）

・推定生息数 調査は一部地域でやっていると思うが、どのように算出しているのか。

⇒（自然環境局環境生活部エゾシカ対策係）

毎年10月に実施しているライトセンサス調査結果や捕獲数実績、自然増加数をもとに、有識者会議において個体数指数を算出しており、それを参考にしている。

（北海道猟友会南宗谷支部）

・市町村では被害防止計画を3年に1回作成しているところ。目標捕獲数、宗谷管内合計数が示されているが、市町村別で示していただけないか。

⇒（自然環境局環境生活部エゾシカ対策係）

令和3年度に目標を上積みした際に各市町村に目安として提示したように、参考に示すことはできるかと思うので、検討したい。

（北海道猟友会稚内支部）

- ・残滓処理の問題がネックになっている。
- ・道が捕獲するよりも市町村の対策を手厚くするべき。

(2) 議題2 宗谷管内におけるエゾシカ対策の現状等について

ア 事務局から資料説明（西野獣医師）

イ 質疑応答（・無）

（北海道猟友会南宗谷支部）

- ・道路出没が増えていて事故も増えている。
- ・道路管理者の責任でもある。出没の多い所に進入防止を設置する取組を是非進めていただきたい。

⇒（北海道開発局稚内開発建設部）

本会議で要望があった旨は担当者に伝えておく。

(3) 議題3 その他

ア 各市町村のエゾシカ対策・課題について聴取

(稚内市)

・メス比率向上についてハンターにお願いしているところ。交付金も利用しながら比率を上げていきたい。

(浜頓別町)

・弾代、燃料代、処理施設、有害捕獲に当たって経費が上がっているという課題が大きいと現場ではよく聞く。

(枝幸町)

・メス比率について、メスは群れでいて、メスよりオスの方が取りやすいのでどうしてもオスの捕獲が多くなりがち。

・枝幸町では現在、処理施設3棟目を増設中である。

(北海道猟友会南宗谷支部)

・メスを捕るのは現状難しいのでは、と感じる。基本、オスメス関係なく、いたものを駆除する。

(北海道猟友会稚内支部)

・メス捕獲圧の理屈はわかる。趣味で始めている者にとってはオスを捕るのが狩猟の醍醐味。ただ、努力したい。

(北海道猟友会天塩支部)

・シカを減らすのが基本。とはいえ、趣味でやっているハンターは全力投球できない。

一般狩猟者で有害駆除をしているのはほんの一部だが、札幌にハンターはたくさんいる。

(都市部のハンターが地域の捕獲対策に参加できるような?) そういう対策をしっかりと考えてほしい。

・50発までしか弾が買えない等規制が厳しいのも働きかけなど行ってほしい。

・様々なものが価格高騰している現状では協力も難しい面がある。

・処理施設は土日に使えないという課題もある。

(北海道猟友会稚内支部)

・サボット弾1発1700円、ライフルでも1発1300円くらい。すごい金額。取り巻く環境を整備してほしい。

・道路縁の草刈りを増やすだけでも事故は減るのではないか。

(4) 協議会全体を通しての質疑応答について

ア 質疑応答 (有・無)